

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の編集にあたって

白石 洋 一†

第4号では2000年5月,9月,11月,および過去に開催されたシンポジウムで発表された論文を対象として,採録論文11編を掲載しております.採録論文数/投稿論文数は,研究会の各回ごとに,それぞれ,1編/3編,7編/14編,2編/3編,1編/4編,全体として11編/24編で採択率は46%です.今回初めてシンポジウムで発表された論文も対象として論文募集を行いました,過去のシンポジウムでは論文誌への投稿を前提としておりませんでしたので,採択率は通常論文と比較してやや低下しております.ただし,これらを含めて,今回不採録となった論文の中にも,再投稿を強く勧めているものがありますので,今後期待したいと思っております.

第1号,第2号,第3号までを含めると採択件数は44編/93編で,採択率は47%です.第1号,第2号,第3号の採択率は,それぞれ,61%,68%,28%でした.第3号は,途中で取り下げる論文が多数発生するという特別な事情で採択率が低調でしたが,本号より回復の傾向が出て参りました.これらはいくまで目

安の値として,今後とも採録論文の質を維持していきたいと考えております.

第4号は,学習,カオス,遺伝的アルゴリズム,その他の広範囲の分野にわたる論文からなっています.どの論文も最新の話題を取り扱い,現実の問題のモデル化,およびその解法を取り扱ったもので,各分野に大きな貢献をするものと考えております.また,配布部数もこれまでどおり1,000部を予定しております.

TOMも論文誌(Transactions)として定着しつつあり,今年度は,年間2号発行という当初の目標も達成されつつあります.また,毎回の投稿件数も着実に増加しつつあります.今後,さらに既存の情報処理学会論文誌(Journal),および種々の論文誌(Transactions)間で横の連携をとり,協力しつつお互いに発展させていく予定です.今後の発展にご期待いただくとともに,本論文誌をご高覧のうえ,まずご発表と論文ご投稿を,さらに本論文誌に対するご指導,ご意見をお願いいたします.また,論文誌の定期購読制度も開始されておりますので,ぜひ,これもご利用ください.

† 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長
群馬大学